

## 「千葉県農林水産業振興計画」(2018～2021)の総括

## 計画策定時の現状と課題

- 農業産出額 全国第4位
- 県内漁港水揚金額 全国第4位
- 生産者の減少と高齢化
- 耕作放棄地・有害鳥獣被害の増加
- 森林の荒廃・放置竹林の拡大
- 水産資源の減少と魚価の低迷

## 取り巻く環境の変化

- 成田空港、圏央道等のインフラの充実
- 東京リビッック・パラリビッックの開催
- 国際化の進展
- ライフスタイルの変化に伴う消費形態の変化と産地間競争の激化
- 生産環境の悪化  
(農地の減少、耕作放棄地発生等)
- 食の安全・安心への関心の高まり
- 農山漁村の多面的機能へのニーズの高まり

## 計画の性格

【千葉県総合計画】  
「次世代への飛躍 輝け!ちば元気プラン」  
を実現するための具体的な取組を示す

## 計画の目標

◆ 農業産出額	4,500 億円 (全国第2位)
◆ 県内漁港水揚金額	560 億円 (全国第3位)
◆ 6次産業の販売金額	830 億円

農林漁業者の所得向上

## 計画の期間

◆平成30年度～令和3年度 [4年間]

## 計画体系図

農林水産業振興計画

産業振興

## 販売力の強化

- 販売促進 ○輸出促進
- 東京リ・パラへの対応

## 力強い産地づくり

- 園芸 ○森林・林業
- 農産 ○水産 ○畜産

## 産地強化

## 農林水産業の成長力の強化

- 担い手育成 ○農林水産業のスマート化 ○食の安全・安心と環境保全
- 生産基盤の強化・充実 ○試験研究の充実

地域振興

## 地域の特色を生かした農山漁村の振興・活性化

- 集落機能の維持・保全 ○都市農業の振興
- 農山漁村の地域資源の活用促進 ○内水面漁業を生かした地域振興
- 耕作放棄地・有害鳥獣対策

## 総括：千葉県農林水産業振興計画の目標実績

項目	計画策定時	目標(令和3年)	実績
農業産出額	4,148億円 (全国4位)	4,500億円 (全国2位)	3,471億円 (全国6位)
県内漁港水揚金額	503億円 (全国4位)	560億円 (全国3位)	476億円※R元年実績 (全国7位)
農業・漁業生産関連事業 (6次産業)年間販売金額	680億円	830億円	784億円

### (1) 農業産出額の都道府県別全国順位

	令和3年				令和2年	
1位	北海道	13,108億円	(+441億円)	北海道	12,667億円	
2位	鹿児島県	4,997億円	(+225億円)	鹿児島県	4,772億円	
3位	茨城県	4,263億円	(▲154億円)	茨城県	4,417億円	
4位	宮崎県	3,478億円	(+130億円)	千葉県	3,853億円	
5位	熊本県	3,477億円	(+70億円)	熊本県	3,407億円	
6位	千葉県	3,471億円	(▲382億円)	宮崎県	3,348億円	
	全国	88,384億円	(▲986億円)	全国	89,370億円	

※鹿児島県・宮崎県・熊本県は畜産等で産出額を伸ばしている

### (2) 千葉県の農業産出額及び全国順位の推移

(単位：億円)

	H18	H19	H20	(略)	H29	H30	R元	R2	R3
産出額	4,014	4,119	4,216	…	4,700	4,259	3,859	3,853	3,471
順位	3位	2位	3位	…	4位	4位	4位	4位	6位

※全国順位が第2位の年は、平成6年～平成16年(11年間)及び平成19年である。(計12年間)

### (3) 千葉県の主な品目別の農業産出額

区分	令和3年			増減率	令和2年			
農業産出額	6位	3,471億円	(▲382億円)	▲10.0%	4位	3,853億円		
内訳	米	8位	466億円	(▲175億円)	▲27.3%	9位	641億円	
	豆類	2位	93億円	(+12億円)	+14.8%	2位	81億円	
	いも類	4位	215億円	(▲30億円)	▲12.2%	4位	245億円	
	園芸	園芸	7位	1,568億円	(▲87億円)	▲5.3%	6位	1,655億円
		野菜	3位	1,280億円	(▲103億円)	▲7.4%	3位	1,383億円
		果実	22位	101億円	(▲10億円)	▲9.0%	20位	111億円
	畜産	花き	2位	187億円	(+26億円)	+16.1%	2位	161億円
		畜産	9位	1,094億円	(▲100億円)	▲8.4%	7位	1,194億円
		肉用牛	20位	107億円	(+13億円)	+13.8%	21位	94億円
		生乳	5位	225億円	(+2億円)	+0.9%	5位	223億円
		豚	5位	393億円	(▲54億円)	▲12.1%	5位	447億円
鶏卵	6位	247億円	(▲48億円)	▲16.3%	2位	295億円		
その他	—	122億円	(▲13億円)	▲9.6%	—	135億円		
その他	—	35億円	(▲2億円)	▲5.4%	—	37億円		

(主な要因)・主食用米から飼料用米への転換が進んだことや米価が下落したこと  
・高病原性鳥インフルエンザの発生により鶏卵の生産量が減少したこと

## 部門別の状況

- ・ 農林漁業者の所得向上や本県農業の発展を図るため、特に農業産出額に大きく影響を与える『農林水産業の成長力の強化』と『力強い産地づくり』の状況を分析しました。

### 部 門：農林水産業の成長力の強化

#### (1) 実 績

- 新規就農者は伸び悩み : 391 人/年 就農 (H27) → 377 人/年 就農 (R3)
- 担い手への農地集積率は微増 : 20.6% (H27) → 28.2% (R3)
- 農産物販売金額規模別経営体数は規模拡大傾向 :

	500 万円以下	500～1,000 万円	1,000～3,000 万円	3,000 万円以上					戸数総計
				戸数小計	3,000～10,000 万円	10,000～30,000 万円	30,000～50,000 万円	50,000 万円以上	
2010 年	44,286 (79.9%)	5,192 (9.4%)	4,741 (8.6%)	1,168 (2.1%)	936 (1.7%)	172 (0.3%)	29 (0.05%)	31 (0.05%)	55,420
2015 年	35,314 (78.6%)	4,305 (9.5%)	4,096 (9.1%)	1,270 (2.8%)	1,005 (2.2%)	183 (0.4%)	42 (0.1%)	40 (0.1%)	44,945
2020 年	26,379 (74.6%)	3,909 (11.0%)	3,691 (10.4%)	1,441 (4.0%)	1,136 (3.15%)	199 (0.56%)	42 (0.11%)	64 (0.18%)	35,356

- 農地所有適格法人数（累計）は増加 : 369 法人 (H27) → 597 法人 (R3)
- ICT 等の現地実証実験・技術導入者数（累計）は大幅に増加 : 49 人 (H27) → 807 人 (R3)

#### (2) 効果のあった主な取組

- 農地中間管理機構を介した担い手等への農地の貸借
- 千葉県農業者総合支援センター等と連携した農業者や就農希望者等への相談対応、経営診断や専門家の派遣、法人化への助成、円滑な雇用導入に向けた就業条件の整備支援
- 各農業事務所と関係機関が連携したプロジェクトチームによる集落営農組織の設立と育成の支援
- 農産物加工や販売、サービスなど経営の多角化に取り組む農業者へ機械導入や施設整備支援
- 新技術の開発や現地実証、研修等の開催によるスマート農林水産業の地域への普及推進

## 部 門：力強い産地づくり

### 【園 芸】

(単位：億円)

年	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3
園芸産出額	2,101	2,299	2,191	1,896	1,593	1,655	1,568

#### (1) 実 績

- 集出荷貯蔵施設整備(機能向上含) : 8か所 (H27 → R3)
- 高収益型園芸施設の新規導入面積(累計) : 1,937a (H27 → R3)

#### (2) 効果のあった主な取組

- 『産地生産基盤パワーアップ事業』(国庫)を活用し、産地の生産体制の強化と生産性の向上を促進

##### 【取組事例 A】

- ・ 取組内容 : 集出荷貯蔵施設及びハーフハウスの整備により、生産面積・収量・集荷量の増加、作業コスト削減を図り、有機 JAS 等農産物の契約取引の向上を図る。
- ・ 事業効果 : H29 : 生産面積 50.0 ha、契約取引量 52,711kg、契約栽培割合 10.4%  
R 2 : 生産面積 50.27ha、契約取引量 333,905kg、契約栽培割合 66.3%

##### 【取組事例 B】

- ・ 取組内容 : 集出荷施設の新設により契約栽培の割合を増加させ、卸・仲卸・直接取引先との契約取引を拡大し、安定化を図る
- ・ 事業効果 : H29 : 契約割合 1.8%、契約取引量 341,100kg  
R 2 : 契約割合 28.9%、契約取引量 4,975,480kg

- 『「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業』(県単)により、園芸産地の生産力を強化

##### 【取組事例 C(協議会)】

- ・ 取組内容 : ハーフハウスや低コスト耐候性ハウスの整備を推進することにより施設野菜(トマト)の生産性を向上させ、出荷量の維持向上を図る。
- ・ 事業効果 : H29 : ハウス作付面積 170a、販売金額 30,767 千円  
R 3 : ハウス作付面積 219a、販売金額 39,069 千円

##### 【取組事例 D(農業者)】

- ・ 取組内容 : ハーフハウスの整備により、施設野菜(すいか・トマト)の生産面積を拡大させ、共販出荷量の増加を図る。
- ・ 事業効果 : H29 : 生産面積 44a、共販出荷量 17,896 kg  
R 3 : 生産面積 80a、共販出荷量 33,080 kg

## 部 門：力強い産地づくり

### 【畜 産】

(単位：億円)

年	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3
畜産産出額	1,350	1,354	1,432	1,287	1,248	1,194	1,094

※内、養豚産出額 [R3 393 億円 (36%)]・鶏卵産出額 [R3 247 億円 (22%)]

### (1) 実 績

- 大規模化・企業化は進展
  - ・養豚 : 2,177 頭/戸 (H28) → 2,709 頭/戸 (R3)
  - ・成鶏めす : 61.5 千羽/戸 (H28) → 101.7 千羽/戸 (R3)
- 高病原性鳥インフルエンザ発生状況
  - ・R2 : 11 事例 (殺処分羽数 : 4,576,303 羽)
  - ・R3 : 3 事例 (殺処分羽数 : 66,313 羽)
  - ・R4 : 6 事例 (殺処分羽数 : 628,841 羽)
- 飼料生産コントラクター数は微増 : 40 組織 (H27) → 44 組織 (R3)
- 自給飼料生産は停滞
  - ・粗飼料自給率 (%) : 37% (H27) → 34% (R3)
  - ・濃厚飼料自給率 (%) : 14% (H27) → 13% (R3)

### (2) 効果のあった主な取組

- 畜産クラスター事業等の積極的活用や進捗管理の徹底により規模拡大が進展

#### 【畜産クラスター事業活用事例(養豚経営)】

- ・取組内容 : 堆肥舎、発酵処理施設、攪拌機 等
- ・事業効果 : H30 : 飼養頭数 4,950 頭、所得 17,993 千円  
R3 : 飼養頭数 6,354 頭、所得 61,469 千円

### [参 考]

- 家畜伝染病対策
  - ・県内の養豚・養鶏農家に対する飼養衛生管理基準遵守のための巡回指導
- 自給飼料等の生産・利用拡大
  - ・労働力低下の解消と飼料生産の効率化のため、コントラクター組織の普及・定着
  - ・『飼料生産拡大整備支援事業』(県単)等の活用による機械導入支援や技術指導を実施

## 1 基本的な考え方

・現在の『農林水産業振興計画』に基づき、特に以下の項目に重点的に取り組む。

### ① 産出額上位の4品目(さつまいも・ねぎ・にんじん・トマト)を集中的に支援

(背景)これまで本県では、園芸品目について農業者の幅広い要望に応えられるように支援を行ってきたが、これまでの取組に加えて、これから産出額が伸びると見込まれる品目に対して、その品目の持つ課題解決のために、集中した支援を行うことが必要である。

### ② 規模拡大に意欲的な農業者への支援の強化

(背景)農業従事者が減少する中、地域農業や集落機能を支える小規模経営の農業者への支援を継続するとともに、農業産出額の増額に向けては、規模拡大に意欲ある農業者への支援が重要と考え、各農業事務所から地域の状況、特に農業者活動の情報を収集し、事業活用を含めた支援を実施することが必要である。

### ③ 家畜防疫体制の強化と自給飼料生産の支援

(背景)畜産については、本県での家畜伝染病を発生防止・蔓延防止に努めること、併せて、飼料価格高騰に対応できるよう自給飼料生産の取組に対する支援が必要と考える。

## 2 具体的な取組事例

### (1) 国内外で需要が増加している「さつまいも」への集中的な支援

- 苗の安定供給体制の整備
- 高単価時期に出荷が可能となる大型貯蔵庫の整備に対する集中的な支援

### (2) 規模拡大に意欲的な農業者への支援の強化

- 大規模生産者等をターゲットとした普及活動の強化
- 農地の集積・集約の推進
  - ・担い手の効率的な営農に向けて市町村による「地域計画」策定を支援
  - ・農地中間管理機構を活用した担い手への農地の集積・集約の推進
- 担い手に対する補助事業活用支援
  - ・国庫補助事業等の積極的な活用を推進
- 労働力の安定確保
  - ・就業条件や雇用環境の改善などの労働力確保対策の強化

### (3) 家畜防疫体制の強化と自給飼料生産の支援

- 飼養衛生管理の徹底、防疫体制の強化(特に養豚・養鶏)
  - ・畜産物の安定的な生産と安全性の確保のため、衛生管理の徹底と防疫体制の強化
- 自給飼料の生産力強化
  - ・自給飼料生産に必要な機械等の導入支援
  - ・収量低下ほ場での土壌分析等による単収増加
- 需給のマッチング支援
  - ・WCSや飼料用米の需給マッチングに向けた耕種農家と畜産農家の連携支援

## <参考> 農業産出額の向上に向けた令和5年度当初予算

(1) 需要が増加している品目への集中的な支援 (単位：千円)

( ) 内は一般財源

	R5 年度当初	H30 年度当初
さつまいも生産拡大緊急プロジェクト事業 [新規]	100,000 (0)	—
県産農林水産物重点プロジェクト事業 [新規]	110,000 (0)	—
県産農林水産物輸出促進事業 ※「世界に飛び出せ千葉の農林水産物」輸出促進事業	65,000 (61,500)	41,300 (37,800)
小 計	275,000 (61,500)	41,300 (37,800)

(2) 規模拡大に意欲的な農業者への支援の強化 (単位：千円)

### ① 設備投資への支援

農林水産業におけるスマート化の推進(農業・畜産・水産・林業) [一部新規] ※一部、重複有	98,593 (76,458)	—
「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業	350,000 (350,000)	350,000 (350,000)
千葉県園芸産地パワーアップ事業	196,000 (0)	748,000 (0)
千葉県農産産地パワーアップ事業	537,000 (0)	270,000 (0)
農産産地支援事業	95,000 (30,000)	20,000 (20,000)
経営体育成支援事業	61,600 (9,000)	64,000 (0)
小 計	1,318,193 (465,458)	1,452,000 (370,000)

※『千葉県園芸産地パワーアップ事業』H30年度：整備事業7件 → R05年度：整備事業1件(要望)

### ② 農地の集積・集約への支援 (単位：千円)

農地集積加速化促進事業 [一部新規]	657,086 (110,104)	460,000 (62,084)
多面的機能支払交付金事業	1,618,930 (506,310)	1,560,400 (493,500)
中山間地域等直接支払交付金事業	100,496 (34,338)	94,000 (32,100)
人・農地将来ビジョン確立・実現支援事業	58,500 (0)	—
農地集積・集約化対策推進交付金(機構集積支援事業)	59,820 (0)	—
農地耕作条件改善事業	174,116 (3,112)	173,000 (0)
小 計	2,668,948 (653,864)	2,287,400 (587,684)

③ 労働力確保への支援（単位：千円）

生分解性マルチ緊急導入支援事業 [新規]	6,000 (6,000)	—
特産果樹産地振興事業	1,660 (0)	—
農業雇用労働力対策事業 [一部新規]	22,000 (22,000)	4,160 (3,080)
農福連携推進事業	2,600 (2,600)	—
ちばの酪農ワークスタイル変革推進事業	2,000 (2,000)	20,000 (20,000)
小 計	34,260 (32,600)	24,160 (23,080)

(3) 畜産経営の自給飼料生産力強化等への支援（単位：千円）

ちばの酪農生産性改善支援事業	8,100 (8,100)	—
県産飼料自給体制整備事業 [一部新規]	85,000 (85,000)	39,925 (39,925)
小 計	93,100 (93,100)	39,925 (39,925)



## <参考>本県農林水産業における物価高騰対策（R4 年度実施分）

<b>(1) 畜産関係：飼料(6月補正)</b>
○事業内容：配合飼料価格安定制度への積立金及び粗飼料の購入に要した経費について臨時的な支援金を給付 ○予算額：867,000 千円(国庫)
<b>(2) 燃油</b>
<b>ア 園芸関係(9月・2月補正予算)</b> ○事業内容：認定農業者等に対しヒートポンプ導入、カーテン等保温設備の整備などの経費を 1/2 以内で助成 ○予算額：9月補正：105,000 千円(国庫)、2月補正：160,000 千円(国庫)
<b>イ 水産関係(9月・2月補正予算)</b> ①事業内容：資材価格高騰による影響額の 1/2 相当額の支援金を給付 予算額：9月補正 120,000 千円(国庫)、2月補正 120,000 千円(国庫)  ②事業内容：国の競争力強化型機器等導入緊急対策事業を活用して省力・省コスト化に資する漁業用機器等を導入する漁業者に対し、上乘せ補助を実施 予算額：9月補正 25,000 千円(国庫)、2月補正 13,000 千円(国庫)
<b>(3) 肥料</b>
○事業内容：化学肥料の使用量 2 割低減に向け取り組む農業者グループに対し、令和 4 年秋肥～令和 5 年春肥として購入する肥料について、前年からの価格上昇率と使用量低減率により算定した肥料費増加額の 2 割(国の 7 割とあわせ 9 割)支援 ○予算額：1,150,000 千円(県単)
<b>(4) 農業水利施設(9月・2月補正予算)</b>
①事業内容：農業水利施設における令和 4 年 3 月～12 月までの電気料金の高騰分について 1/2 以内で支援 予算額：227,000 千円(国庫)  ②事業内容：省エネルギー化・コスト削減に取り組む土地改良区等に令和 4 年度の農業水利施設の電気料金等の高騰分の一部支援 予算額：227,000 千円(国庫)
<b>(5) 林業関係(2月補正予算)</b>
○事業内容：物価高騰の影響を受けるきのこ生産者を支援 ○予算額：【新規】29,000 千円